



北進

めざす子ども像 「たしかに学ぶ子」「かかわりをもてる子」「たくましく生きる子」

重点「かかわりを通して学び、主体的に未来を生き抜く子どもの育成～「かかわる」「つなげる」「ひろげる」で子どもたちの未来を見守る～」

一人一人が輝く 「かかわり」「つながり」「ひろがり」の実現

校長 野澤孝志

第53回卒業証書授与式を3月9日(土)に北進小中学校体育館において実施し、小学6年生8名、中学3年生9名に卒業証書を無事に授与することができました。その晴れ姿をご家族にも祝福していただき、卒業生たちはとても嬉しそうでした。



また、当日は、千歳市教育委員会学校指導室長の松原謙二様、北進小中学校PTA会長の今野瑞希様、北進小中学校運営協議会長の蓬田恒春様をはじめとする学校運営協議会運営委員の皆様にもご列席いただき、北進の卒業生の門出をともに祝っていただきました。来賓の皆さんは、小学生も、中学生も立派に成長し、式に参加する姿勢を見て、とても感心していました。

さて、北進小中学校では、全ての教育活動は一時的に取り組むものではなく、「シンプル」にした上で、長い時間をかけて「繰り返し」取り組むことで、資質・能力を育んでいくものであると考え、進めてまいりました。

北進の子どもたちの資質・能力の育成を行う先の目標は、子どもたち一人一人が輝く「未来保障」です。そしてその土台となるのが、子どもを主語にした、「かかわり」、「つながり」、「ひろがり」であると考えています。

「かかわり」の対象は、学校の友達や教職員、保護者、地域など多くの人です。「つながり」は、各種行事等を通じた小中一貫教育活動や、地域の方を招いての地域学校協働活動です。そして、北進9年間の学びの先、子どもたち一人一人の未来に向け、北進の実践の蓄積である、キャリア教育を中心とした取り組みが未来へと「ひろがり」ます。昨年までの重点の取組を継承し、子どもたち一人一人のよさを大切に、互いを認め合いながら成長していく北進小中学校を教職員、保護者、地域全体で実現していきたいと考えています。

以上のことから、令和6年度においては、子どもたちの実態を踏まえ、昨年に引き続き「かかわりを通して学び、主体的に未来を生き抜く子どもの育成」を重点目標として教育活動を継続することとし、併せて、一人一人のキャリア達成に向けてのスマールステップとして、子どもたち一人一人の「かかわり」「つながり」「ひろがり」の実現をキーワードとした副題を設定いたしました。令和6年度は、これらの取組を通して、めざす子ども像全体に迫りたいと考えています。引き続き、保護者の皆様、そして地域の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。